

せいひつ
しっとりとした映像と静謐な風景、
夜の闇にほんのりと灯る山鹿灯籠の数々・・・

生と死という重いテーマが、これほど深く、
さすが
そして清々しく描かれている映画は
まれ
稀ではないか。

姜尚中 熊本県立劇場館長

3か月前に夫を亡くし、生きる力も失ってしまいそうな日々を過ごしていました。ラストシーンのセリフに「ああ、これは夫が私に言ってくれたのだ」と思い、涙がとめどなく溢れてきました。たくさん泣いて映画館を出たら心が少し軽くなっていました。(50代女性)

もう少し生きてみようと思いました
(30代女性)

何度でも観たくなる、初めての映画
(50代男性)

亡き妻の遺骨を抱いて、彷徨う男がいた
辿り着いた場所で出会ったのは——

古き時代の佇まいを残す、熊本豊前街道の温泉町「山鹿(やまが)」元美術教師の男、市井祐介(49)は、祭りのポスターに描かれた「灯籠娘」に、妻・ゆかりの面影を見る。灯籠師見習い直樹(30)のもとで働き始めるが遺骨を手放せないまま、深い孤独と喪失感に拭えない。

町を出ようと決めた祭りの日、ゆかりの双子の妹、あかりが現れる。「あなたにお願いがあって」千人灯籠を踊るためにこの町に来たという、あかり。彼女の目的とは——

夫婦ともに涙なしでは観れませんでした
(50代女性)

山鹿の美しさ、熊本の人々の温かさ、
伝統の技術の素晴らしさ！(40代女性)

大切な人を亡くしたあなたに届けたい
美しい涙と感動の物語

妻との時間をもっと大切にしたくなった
(40代男性)

2回観ると登場人物の心がより深く読み解ける
ロングラン納得(60代男性)

リピーター続出



映画公式サイト
honenashi.com



Instagram



X



Facebook

熊本先行上映 異例の5カ月ロングラン! 5/16[金]～いよいよ東京初公開!

5/17[土]・18[日] 初回上映後に監督・俳優陣 舞台挨拶予定



YEBISU
GARDEN
CINEMA
UNITED CINEMAS

恵比寿ガーデンシネマ
JR恵比寿駅東口より
徒歩約7分



東京メトロ日比谷線恵比寿駅1番出口
東口 動く通路
至 渋谷
JR恵比寿駅

恵比寿ガーデンシネマ
(恵比寿ガーデンプレイス内)



24306-A